

科目ナンバリング		U-LAS01 10005 LJ38										
授業科目名 <英訳>		東洋史Ⅰ Oriental History I					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 辻 正博			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(基礎)			使用言語	日本語			
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)					
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2/月3		配当学年	全回生	対象学生	全学向			
[授業の概要・目的]												
<p>「中国中世史における華北と江南」</p> <p>漢帝国の滅亡は、中国古代の終焉を意味した。それは、漢民族が黄河中下流域を中心に形成した文明の終わりでもある。北方の遊牧系民族が華北(黄河流域)に移動・定住したことを契機として動き出す中世の時代、漢民族が形成した華北社会は大きな変化に遭遇する。また、古代史にはほぼ登場しなかった江南地域が、中世では徐々に大きな存在となってゆく。無論、そうした歴史過程は単純ではなく、さまざまな紆余曲折を経て展開する。この講義では、高校の世界史教科書ではほとんど描かれていない、中国中世史の多様な側面を華北と江南との対比を構成の軸として紹介・解説し、結果として、受講生に新たな歴史像を提示したい。</p>												
[到達目標]												
<p>古代日本が中国大陆と本格的にコンタクトを取り始めた時代、中国は華北と江南にそれぞれ別の王朝が存在し、社会にも大きな変化が起きつつあった。本講義は、古代日本が相対した中国王朝・社会がどのようなものであったのかについて、華北と江南を対比して論じることにより、受講生が中国中世の歴史・社会を多面的に理解することを目的とする。</p>												
[授業計画と内容]												
<p>基本的に以下のプランに従って講義を進める。但し、状況に応じて内容を適宜変更することがある。なお、初回は「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。</p> <p>第2週目以降は、以下のテーマについて合計14回(フィードバックを含む)の授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国古代の華北と江南 2. 華北における胡漢の並存 中国中世への導火線 3. 魏晉王朝と胡族勢力 4. 華北漢族社会の変容 貴族制社会の形成 5. 力関係の逆転 華北の4世紀 6. 江南社会の変容 孫呉と東晉(江南の3～4世紀) 7. 胡族国家・北魏による華北統治(華北の5世紀) 8. 北魏国家の変貌 孝文帝の「漢化政策」がもたらしたもの 9. 江南王朝の変質 門閥貴族政権から軍事皇帝の時代へ(江南の5世紀) 10. 突厥遊牧帝国の出現と北朝(華北の6世紀) 11. 侯景の乱と江南王朝の衰退 江南の6世紀 12. 隋による中華統一 華北による江南の併呑 14. まとめ 《期末試験》 15. フィードバック 												
----- 東洋史Ⅰ(2)へ続く -----												

東洋史Ⅰ(2)

【履修要件】

本講義は、同一内容のものを週2回開講するので、いずれか1つのみを履修登録すること。

【成績評価の方法・観点】

平常点（課題・クイズの成績および出席状況等。50％）および期末試験（レポート試験）の成績（50％）

【教科書】

富谷至・森田憲司編『概説中国史（上）：古代 中世』（昭和堂）ISBN:978-4812215166
本学の学習支援システム等を通じて、講義資料を配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

（１）高等学校の「世界史Ｂ」「世界史探究」教科書内容を理解していることを前提として授業を進めますので、よく復習しておいてください。
（２）講義資料は、原則としてP a n d Aを通じて配布します。事前にダウンロード・印刷して読み込んでおくことを強くお勧めします。

【その他（オフィスアワー等）】

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

【主要授業科目（学部・学科名）】

総合人間学部